



## JCNA 2009年度テーマ

## 人に仕える医療と看護

～仕えられるためではなく、仕えるために～

## 人に仕える医療と看護

～仕えられるためではなく、仕えるために～

本部顧問司祭 川上 誠

このたび、日本カトリック医療施設協会・日本カトリック医師会・日本カトリック看護協会による「日本カトリック医療団体協議会」が日本カトリック司教協議会の公認団体として正式に発足いたしました。その目的については協議会の規約に次のように述べられています。

「本会は上記 3 団体の自主性を尊重しつつ、3 団体間の連携を強化し、相互扶助を図るとともに、カトリック精神に則った医療・福祉の向上に努め、もって日本におけるキリストの福音の普及を目指すことを目的とする。」(第3条)

今年の秋、三者による最初の全国大会が長崎で開催されることになりました。大会テーマは「人に仕える医療」となっています。これを受けて JCNA の本年度のテーマも「人に仕える医療と看護～仕えられるためではなく、仕えるために～」とし、そのような精神で進むことになりました。

医療をとりまく状況の厳しさは、当事者の方々がその課題の重さを一番分かっておられるわけですが、あらためて、医療・看護は誰のためのものか、という原点に立ち戻る必要があるということでしょう。

患者を癒し、そのいのちをどのように支え続けることができるのか、という課題は医療・看護者一人一人の使命であると同時に、それを機能させていくために、医療機関、医療体制全体が最大限の努力を払い続けなければならないということです。そしてそれをいつも正しく方向づけ、推進してゆくのはやはり、人が人のいのちに対して持つ思いであり、それを真実に把握できる精神の清澄さです。

看護者の心をその福音的心で照らし、語り続けられたシスター寺本のことばは、私たちに看護の本当の心と精神をあらためて呼び醒ましてくれる真実が生きているのではないのでしょうか。

「人間関係は、上手、下手ではなく、その人にかかわろうという姿勢による。相手に心を尽くして看るとき、必ずよい方法がうまれる。」

「科学のなかだけで自分の看護を生かそうとすると、看護が枯れていく。現在の私たちが陥りがちな危険性は、割り切ってものごとを考慮してしまうことである。そんなとき、心の温かさや深さは影をひそめ、冷たい理屈だけでもの言うようになる。知識と行動と心との合体された看護でなければならない。」(寺本松野ことば集『きょう一日を』52,58頁)

シスターのこの心の在り方はどこから来たのでしょうか。言うまでもなく、シスターの静かに真剣に祈りに向かう霊的生活、イエスとの深い結びつき、即ちキリストの恵みの泉から汲んでいたのです。

私たちも、日常の多忙な職務の中にあって、祈りや黙想、霊的読書、音楽や芸術鑑賞、食事やお茶、自然や仲間たちとの語り、信仰生活の分かち合いを通して、イエスに仕え、病人に仕える心豊かな看護者に成長していきたいものです。日本のカトリック教会の中でより絆を深めつつ、JCNA の皆さんが特に看護・医療関係の仲間たちの間にその精神をよりいっそう広めていくことができますよう、新たな期待を込めて共に歩みたいと思います。











## JCNA 本部役員会報告

### ■第1回 2008年6月15日(日) 東京・市ヶ谷

#### 1. JCNA の活動方針、および取り組むべき課題について

- (1) 会員数の増加対策
- (2) 「JCNA」のPR対策
- (3) 「ホームページ」の活用・内容の検討・PR
- (4) パンフレットの改定
- (5) 「日本カトリック医療連絡会」との協力体制を確立する
- (6) 経済的基盤の確立

#### 2. 本部役員会「交通費」についての確認

全国総会議事録確認において、経緯も含めて交通費の確認をおこない、現役員は共通認識をもった。

### ■第2回 2008年10月18日(土) 東京・市ヶ谷

1. 2010年度 全国大会 候補地について
2. 早急に取り組むこと= 扱いやすい小振りのパンフレットの作成
3. 本部役員会「交通費」について

20万円のご寄附をいただいた。深く感謝し、そのご意向どおりに使わせていただくことにする。

### ■第3回 2008年12月7日(日) 東京・市ヶ谷

1. 第18回C I C I AMS世界大会が2009年3月9日から11日にメキシコで開催される。シスター沢と河野が参加予定。3月8日に開催される総会へは会長代理としてSr.沢が出席。
2. 今後のJCNA全国大会のありかたについて

・どこの支部も会員の高齢化があり、若い世代にバトンタッチするまでのあいだ、本部がリードしていく本部共催型が必要であろうと思われる。

### ■第4回 2009年2月1日(日) 東京・市ヶ谷

1. 2010年度第52回JCNA全国大会開催地の件
2. パンフレットについて=試作品を回覧、検討。
3. 2009年度 第53回JCNA全国総会の通知の検討
4. 井深初代会長のテレビ放映について

テレビ東京「世界を変える100人の日本人! JAPAN☆ALLSTARS」の番組の中で井深会長が紹介される。3月6日放送予定。

#### 5. 事務局より

ゆうちょ銀行からの通知による会費振込みにおける利用の案内を、各支部へお知らせする。

## 第50回日本カトリック看護協会全国大会の報告

### テーマ 病む人とともに生きる ～仕える喜び～

9月26日(金)～27日(土)、池長大司教さまをお迎えし、大阪府吹田市千里万博公園ホテル阪急エキスポパークで開催されました。今回のテーマは「病む人とともに生きる～仕える喜び～」で、全国の各支部、一般の方、当日のみの方と130名が参加してくださいました。

初日 講演Ⅰ 人見滋樹 先生(京都大学名誉教授)は「医療の中核を担う看護師のあり方～信徒使徒職の立場と共に考える～」というテーマで、患者さんとの接点が最も長いのは看護師であり、広い社会性、人間性、人間愛、そして信仰宣言を行なった医療人には、高い倫理性が求められ、患者の立場に立って考え、患者のために祈れる看護師であるようにと話されました。

講演Ⅱ 沼野尚美 先生(六甲病院 緩和ケア病棟チャプレン、カウンセラー)は、「生と死をみつめて共に生きる」というテーマでのお話でした。先生ご自身の体験から、ユーモアをまじえ、ときに力強く、人生の旅立ちの時は人の助けが必要であること、一人の患者さんにかかる時間の長さでなく、私たちがどのような態度で接したかということが大切。また人が自分のいのちの価値に気づくのは他者から大切にされた時です、ということなど、キリストの生き方に従い、キリストとともに生きるようにと熱く話されました。

2日目は会員発表が行なわれ、Sr.泉キリ江さま(熊本聖心病院ホスピス長・臨床パストラル部長)のテーマは「ホスピスでの学び、よろこび」と題して、毎日の職務は患者・家族中心のケアであり、その人らしい生の完成への援助であるとの理念を話されました。優しさとは相手を思う心なのですと、心にスーと入るお言葉でした。

山口支部より「養護老人ホームにおけるターミナルケアの取り組み」

東京支部より「看護に霊的支えを導入して～療養病棟入院中の患者の事例を通して」

大阪支部より「釜が崎での12年間のボランティアを振り返って」と続き、

これらの発表をいただき、私たちは働く場所が違っても同じ目的であること。病む人と共に生きる喜びを持って、いのちに寄り添うことに懸命に取り組んでいる姿を実感しました。

大会開催にあたり、多大なご尽力をいただきました、姫路聖マリア病院・箕面ガラシア病院に深く感謝し、大阪支部会員が決意表明を述べて大会を締めくくりました。(大会実行委員長 浜崎ヨウ子)

### 救護奉仕への御礼

時を越え今ひびく福者の祈り

11月24日に開催されました「ペトロ岐部と187殉教者列福式」に際しましては、会場での救護にご協力いただき本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

当日は、朝早くから夕方まで寒い雨の中での救護活動でしたので、その後体調を崩された方がいらっしゃるのではと心配しております。

今回、約40名の医師、130名の看護師、135名のボランティアの参加協力を得て、医療救護活動を行いました。お陰さまで大きな事故や重病者もなく無事式典を終了することができました。皆様お一人おひとりが、ご自分の貴重な時間を割き、大きな犠牲をささげて下さり、ボランティアとしてこの救護活動に快く応じてくださった賜物と感じております。感謝の気持ちを十分にお伝えできませんが、高見大司教様からもお礼のお手紙をいただいております。ご奉仕くださった皆様、本当にありがとうございました。皆様方のご健勝を祈念しながら。

列福式実行委員会救護部

シスター大山久美子